



外来診療科目のご案内

☆☆新しい医師に来ていただきます☆☆

春は新たな出会いの季節です。

4月より、内科医として田中健丈先生に来ていただきます。田中先生は、平成27年に自治医科大学を卒業され、さいたま赤十字病院で研鑽を積まれました。詳細は、次号で紹介させていただく予定です。

また、3月まで勤務していただきました内科医の物部芳郎先生は、4月より埼玉医科大学川越医療センターへ赴任されました。

4月からの外来の診療科目につきましては、裏面のとおりですのでご案内させていただきます。

☆ ～ 認知症についておもう ～ ☆

皆様、こんにちは。小鹿野中央病院地域包括医療部長の内田望です。昨年はこの病院だよりに、加藤寿先生が『がんの予防、診断、治療。そして緩和ケア ～町立病院ができること～』と題してガンについての基礎知識をわかりやすくシリーズで10回にわたり書いてくださいました。今からは私のエッセイを連載したいと思えます。あくまでも私の個人的な思いで綴っておりますので、一般的な医療や治療とそぐわないところも多々あるかと思いますが、そこはそんなものだと思っただけであれば幸いです。

①「認知症だった祖母」

数年前の4月に祖母が亡くなりました。大正3年生まれで御年なんと96歳でした。

祖母は両親とともに千葉県に住んでいました。ある日のことです。デイサービスで黒いものを吐いて倒れたとのことで救急車が呼ばれました。救急隊が到着してから受け入れ先の病院が見つかるまでなんと2時間。さらに、やっと見つかった搬送先の病院まではそこから30分かかるとのことです。数年前の話ではありますが、都会における「救急車受け入れ困難」という状況が身内にまで降りかかるとなんだか複雑な心境でした。ちなみに、以前メディアでは「救急車受け入れ拒否」という言葉を頻繁に使っていました。医療者の立場から言うと、この言葉はすこし違和感があります。拒否というのは、要求や提案を聞き入れないで断ること、とあります。医療機関側は様々な事情で受け入れることができない状況なのであって拒否ではない、と思うんですよね。

話がそれてしまいました。実は、祖母はけっこうな認知症でした。長く横浜市で暮らしていましたが、一人暮らしが困難となったため、約20年前に私の両親とともに千葉で暮らすようになりました。新しい環境に慣れないため、「家まで帰る」と出かけ何度か行方不明になった事もあるようです。いわゆる『徘徊』ですね。そんな祖母を何度か警察に迎えに行ったという話を父から聞いたことがあります。最近では、認知症の方の徘徊は本人にとっては意味がある行動と解釈し、『お散歩』と表現することがあるとか。なんだかほっこりする考え方ですね（家族にとっては当人が行方不明になり、大迷惑な話ですが・・・）。祖母もお散歩で横浜まで帰るつもりだったのでしょう。ある時は「水が漏れている」と水洗トイレの便器の中にタオルを詰め込み、さらにトイレの流水レバーを押しては床を水浸しにしたこともあったとのこと。また、ある時はセールスマンを家に上げ、丁寧にもお茶とお菓子を出していた事もあったようです。それ以外にも祖母の認知症にまつわるエピソードは数知れませんが、オレオレ詐欺、振り込め詐欺によく遭わなかったと思います。まあ、私が電話しても私のことは認識できていませんでしたし、そもそも電話があったことすら覚えてもいませんでしたので（実家に電話しても祖母が出たときには伝言は頼めませんでした）、詐欺をする方もだませなかったでしょうね。

そんな祖母も、何か仕事を与えればいやな顔をせず引き受けていました。洗濯物をたたむのは祖母の仕事でしたし（ひたすらたたんでました）、祖母の丁寧な字で書かれた有名な詩や聖句も時々両親から郵送されてきました。両親は認知症患者との生活にはそれなりに苦勞もあったと思いますが、わりと上手にこなしていたのではと想像します。「人間の幸せの一つは人から必要とされることである」という言葉を聞いたことがあります。祖母が周囲から必要とされていると感じることができるよううまく誘導していたのでしょうね。

救急病院に運び込まれた祖母は、すでに意識もなかったようです。高齢であり特に積極的な治療は望まないとの方針でもありましたので、私は点滴もせずに自然な形で看取ることを、遠く高知の地から提案しました。せいぜいもって数日との予想に反して、なんと点滴もせずに10日以上も頑張りました。父からは「いつになったら天国に行くのだ？」と何度か電話がかかってきたほどです。人間の力とは本当に計り知れませんね。最後はとつても穏やかに旅立ったとのことでした。

私自身、年をとったら少々ボケそうな気がしています。でも、もしも希望が叶うなら、皆から愛される認知症になりたいものです。天国から返事がもらえるなら、一度祖母に手紙でも出してみようか、と思う今日このごろです。

